



World Karate Federation General Secretary Office News Letter vol.17 (1)

Edition December 8th, 2015

*Modified on December 14th

世界学生開催地、神戸に

2018年世界学生開催地 神戸市に決定！

前回のニューズレターより約1ヶ月、ご無沙汰しておりました。空手界では実にさまざまなイベントがあり、ご報告すべき事が数多くありますので、今回は3ページにわたってレポートをしたいと思えます。

まず、本日たいへん嬉しい報せが届きました。「2018FISU第11回世界大学空手道選手権大会」が神戸市で開催されることに決定したのです。

かねてから招致活動を行ない、10月にはベルギーにてプレゼンテーションに参加しました。日本では実に18年ぶりの開催であり、また2020年東京オリンピック成功へ大きく弾みをつける大会として、成功させねばなりません。

来年以降、開催に向けた準備に入りますが、世界空手連盟としては主管の全日本空手道連盟、全日本学生空手道連盟を全面的に支援していく所存です。

追加種目候補入りの御祝と「決起集会」

10月30日(金)、全日本空手道連盟が都内において盛大なパーティを開催し、当連盟エスピノス会長と共に出席いたしました。

これは、本年9月に空手が2020年東京オリンピック追加種目候補となったことを祝い、来年8月の正式決定、そして2024年以降のオリンピック正式採用に向けた、空手の「決起集会」たる行事でした。



(10月30日、都内でのパーティでは各国大使館関係者に空手への応援をお願いしました)

パーティでは日頃から空手を応援していただいている空手道推進議員連盟・都議会空手道推進政策研究会の皆様はもちろん、日本在住の各国大使・公使、外務省関係者と懇談し、今後の協力を要請しました。日本代表選手による演武も行なわれ、形と組手の魅力が十二分に伝わったことと思えます。

世界空手連盟 事務総長

奈藏 稔久

世界空手連盟 事務総長事務所

〒135-8538 東京都江東区辰巳1-1-20 日本空手道会館
電話 03-3522-6673 FAX 03-3522-6675 kobinata@wkf-gs.jp



World Karate Federation General Secretary Office

News Letter vol.17 (2)

Edition December 8th, 2015

サウジアラビアから インドネシアへ

武道が大人気のサウジアラビア

11月10日(火)より、日本とサウジアラビアの外交関係樹立60周年を記念して、70名を超える日本武道代表団がサウジアラビアを訪問、演武や現地武道愛好家との交流稽古をしました。自民党副総裁で武道議員連盟会長の高村正彦氏が団長を務め、私はコーディネーターとして同行しました。

この事業で現地受け入れ側の代表を務めたのが、サウジアラビア空手道連盟の会長、イブラヒム氏でした。サウジアラビアは空手を始めとした武道がたいへん盛んな国であり、どの武道の演武も大好評を博していました。

あいにく本事業は WKF の世界ジュニア&カデット大会(インドネシア)と日程が重複しており、私は1日半だけ首都リヤドに滞在し、インドネシアに移動したのです。

WKF 全理事がキャンペーンに感動

世界ジュニア&カデット大会では日本人選手団が金メダル8個を獲得するなど総合成績第1位を記録し、将来のオリンピックに期待を抱かせる好成績を残しました。

本大会には、在インドネシアのサウジアラビア大使も来場しており、リヤド訪問の話も交えながら、空手を観戦し、たいへん満足していただきました。



(上/サウジアラビア空手道連盟イブラヒム会長と 下/世界ジュニア&カデット大会にて日本選手団と)

また、世界大会の折には WKF 会長を筆頭に各国の理事が集まり、理事会を開きます。今般の理事会においては、「事務総長からの報告」として空手の追加種目提案までの WKF と全空連とのキャンペーンを詳細にわたって説明しました。全理事が、オリンピック・キャンペーンの全容を理解し、ご尽力いただいた全空連の皆様にも万雷の拍手をもって感謝の気持ちを表していました。

世界空手連盟 事務総長

奈藏 稔久

世界空手連盟 事務総長事務所

〒135-8538 東京都江東区辰巳1-1-20 日本空手道会館
電話 03-3522-6673 FAX 03-3522-6675 kobinata@wkf-gs.jp



World Karate Federation General Secretary Office

News Letter vol.17 (3)

Edition December 8th, 2015

沖縄プレミアリーグ

2015年グランド・ファイナル

11月28日(土)、29日(日)の2日間、沖縄県立武道館においてプレミアリーグKARATE1沖縄大会が開催されました。2011年から始まったプレミアリーグですが、日本での開催は昨年に続き2回目です。今大会は、今シーズンの最終戦「グランド・ファイナル」であり、各階級で年間ランキング1位になった選手が「グランド・ウィナー」に輝きました。

エスピノス会長、ディディエ副会長(WKFスポーツ・コミッショナー)、張理事(AKF会長)や、WKFの大会運営スタッフ、広報スタッフが沖縄に集まり大会に臨みました。

追加種目提案後、初の日本における国際大会

今大会は、空手が東京オリンピックの追加種目候補となって以降初めてとなる、「日本開催の国際空手大会」でもありました。今空手は、オリンピックを見据え、競技の盛り上がりだけでなく大会運営能力が問われています。

全日本空手道連盟、地元・沖縄県空手道連盟の素晴らしい協力によりほぼ予定通りに進行し、開会式には翁長雄志沖縄県知事、沖縄選出の島尻安伊子特命担当大臣が列席。

島尻大臣には表彰式のプレゼンターも務めていただき、男子個人形優勝の喜友名諒選手(沖縄出身の世界チャンピオン)に金メダルを贈呈していました。



(開会式より。翁長県知事、島尻特命担当大臣も列席)

一方、観客動員の点で課題が残りました。

空手競技はたいへん魅力的で、感動や興奮をもたらすものです。それを、いかに空手を知らない人に伝え、観客席を満員にするか？ オリンピックを目指す空手は、新たな段階の普及発展を求められる時代に突入しました。開催地・日本として向き合っていかなければならない課題です。

世界空手連盟 事務総長

奈藏 稔久

世界空手連盟 事務総長事務所

〒135-8538 東京都江東区辰巳1-1-20 日本空手道会館
電話 03-3522-6673 FAX 03-3522-6675 kobinata@wkf-gs.jp